



研修風景

院内研修

平成 29 年

7 月 25 日～26 日

特集

医療安全・感染防止研修実施しました

年 2 回当院で行っている職員全員参加の研修を 7 月 25 日～26 日の 2 日間に渡り、実施しました。参加率は、84.6%と高い出席を得ることができました。

医療安全研修

「針刺し・切創などの血液・体液暴露(ばくろ)の予防策」

医療現場では、患者様に使用済みの注射針や鋭利な器材による針刺し・切創が起こる可能性があります。どんなに注意していても取り扱っている以上ゼロにするのは容易ではありません。誤って針を刺してしまった場合、B 型肝炎、C 型肝炎、HIV (AIDS)、梅毒などに医療従事者が感染する可能性もあります。これを「職業感染」といいます。

また、皮膚だけでなく、目などにも血液や体液が掛かることもあります。病院

に受診に来られる患者様は、多種多様な病気をもっておられる可能性が高いため、日々わたしたちは、予防・対策しながら、働いています。手袋やガウン、ゴーグルをしているのはそのためです。今回は、日常の予防・対策について基本を学びました。

感染防止対策研修

「手指衛生の重要性と実践」

「手洗い」は大事。子供の頃から言われ続けてきたことです。病院では、多くの患者様が来院されますので、さらに手洗いや手指消毒を徹底しています。理由は、菌やウイルスは、人から人へ運ばれていくものが多いからです（接触感染といいます）。今回は、特に「手洗い」がしっかりできているか確認するために右図のような機器を使用し、洗い残しをチェックし、日々の手洗いをどのように注意すればよいか確認しました。



講師：サラヤ(株)



ブラックライトを使って、洗い残しがないか
をチェックしています